



# 2025 World Triathlon Competition Rules 主要変更点

2025/01/31 Triathlon Japan 審判委員会  
Triathlon Japan 技術委員会

# 2025 World Triathlon Competition Rules 主要変更点について

- 本資料は、2025/1にWorld Triathlon 技術委員会より発表された改訂内容のうち主要な改訂に関して紹介するものです。
- 全ての改訂点に関しては、別途発行予定の「2025 World triathlon Competition Rules（簡易和訳・全ページ図解付）」あるいは、World triathlonより発行されている2025年版のWorld triathlon Competition Rules を参照ください。
- World triathlonより展開された英文が原文であり、英文と和文、本資料に差異がある場合は、英文の意味を優先します。
- World Triathlonは、TRIと略します。

# Eligibility

Rule	Subject
2.5 h)	<p>g.)選手は、以下に挙げるカテゴリーの世界トライアスロン大会のエリート プログラムにエントリーすると、エリートの資格を獲得する。（エリートとエイジ資格の明確化）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(i) 世界選手権</li><li>(ii) 世界選手権シリーズ</li><li>(iii) 世界選手権決勝</li><li>(iv) ワールド シリーズ</li><li>(v) ワールド カップ</li><li>(vi) T100</li></ul> <p>エリートの資格は、選手がエントリーしたイベントのマルチスポーツに関連付けられる。 エリート選手は、エリートの資格を獲得した同じ暦年および同じマルチスポーツで、エイジイベントのガイドになることや競技に参加することはできない。</p>
11.2 a) (ix)	同じ大会でTD と HR が 一親等の関係でないこと。（夫婦も含む）
16.4 c)	ミックスリレー（エイジを除く）のチーム数は、18～25

# Eligibility

Rule	Subject
2.5 g)	<p>競技の距離とカテゴリ毎の年齢制限の見直し。</p> <p>上位レベル（WTCS、WTC、CTC等のエリートSP,SSP等）の競技会では最低年齢が引き上げられた。（右表参照）</p>

Category	Distance	Elite program	U23 program	Junior program	Youth program
World Triathlon Championship Finals	Standard	18+	18-23	16-19 (Sprint)	n/a
World Triathlon Championship Series	Standard	18+	n/a	n/a	n/a
World Triathlon Championship Series	Sprint	18+	n/a	n/a	n/a
World Triathlon Championship Series	Sp-sprint	18+	n/a	n/a	n/a
World Triathlon Championship Series	Eliminator	18+	n/a	n/a	n/a
World Triathlon Cup	Standard	18+	n/a	n/a	n/a
World Triathlon Cup	Sprint	17+	n/a	n/a	n/a
World Triathlon Cup	Sp-sprint	17+	n/a	n/a	n/a
World Triathlon Cup	Eliminator	17+	n/a	n/a	n/a
Continental Triathlon Cup	Standard	18+	n/a	n/a	n/a
Continental Triathlon Cup	Sprint	16+	n/a	16-19	n/a
Continental Triathlon Cup	Sp-sprint	16+	n/a	15-19	n/a
Continental Triathlon Cup	Eliminator	16+	n/a	n/a	n/a
Development Regional Cup	Sprint	16+	n/a	n/a	n/a
Supertri E Championships	Sp-sprint	17+	n/a	n/a	n/a
Continental Triathlon Championships	Standard	18+	18-23	n/a	n/a
Continental Triathlon Championships	Sprint	18+	18-23	16-19	n/a
Continental Triathlon Championships	Sp-sprint	18+	18-23	16-19	15-17
T100 World Tour	Middle	18+	n/a	n/a	n/a
Mixed Relay World Championships	Sp-sprint	16+		16-23	n/a
Mixed Relay Series	Sp-sprint	16+	n/a	n/a	n/a

# Eligibility

Rule	Subject
16.13 a) (iii)	エイジのミックスリレー大会のカテゴリ-毎の年齢範囲を、チームの個人個人の年齢からチームメンバー全員の年齢の和で40歳ごとのカテゴリに変更。 60 - 79 (X60) 80 - 119 (X80) 120 - 159 (X120) 160 - 199 (X160) 200 - 239 (X200) 240 - 279 (X240) 280 - 319 (X280) 320 - (X320)
17.4 b) ii)	パラ選手は、初めての大会の待機リストに登録される前に「TRI PI 医療診断用紙」または「TRI VI 医療診断用紙」等を提出しなければならない。
2.5 p)	男子、女子、オープンレースへの選手の参加資格は、①TRIの性別資格ガイドライン②トランスジェンダー選手のTRI資格規則③TRIのノンバイナリーポリシーの文書で定められた基準に従う。(トランスジェンダー規則に従い、今後男子カテゴリは、オープンカテゴリに変更 eg. <b>M30</b> → <b>N30</b> )

# Competition

Rule	Subject
2.1 a) (xiii)	大会の競技コースは、規定のコースに従う。但し、アドバンテージがない安全上の理由、TO の指示、またはアドバンテージのない偶発的な理由によっては、変更を行うこともあり得る。
2.2 b)	外部支援：基本禁止であるが、パラ大会において17.7cに示されるパーソナルハンドラーによる支援は、認められる。
2.2 c)	選手は他の選手の前進を物理的に支援することは禁止。これを行うと、該当選手は失格。この支援を受けている選手がこの援助を受け入れた場合（および/または積極的にこの支援を避けようとしていない場合）、この選手も失格。
4.1 g)	スイムにおける選手の負傷防止の観点より、爪は指先より短く、丸く鋭くないものでなければならない。宝石、時計は原則禁止。HRの判断により時計の着用を許可する場合がある。（この規則はSD以下の距離のエリート、U23、ジュニアに適用。）
4.1 c)	スイムにおいて、選手は推進力を得るために無生物を押しすることは禁止。（パリオリンピックで船壁を蹴った事例より追加）

# Competition

Rule	Subject
4.7	新しいスイムスタート手順

すべての選手がスタート位置に着き（スタートオフィシャルが確認し記録）、会場全体のスタート準備が整ったことが確認されたら、以下の手順で進行。

- スタート20秒前までに「選手の皆さん、スターターの手に委ねられています」（“Athletes, now you are in the hands of the starter”）のアナウンスが流れる。スタートオフィシャルは、旗を降ろし、選手はスタート位置に留まる。
- 10 ～ 15 秒間、ハートビート再生。
- ハートビートがフェードアウトして、3 ～ 5 秒間の沈黙（選手は静止）
- エアホーンが鳴る（全選手の静止確認したタイミングでTO等が鳴らす）
- レースがスタート（フォルススタートがあった場合、TOは旗を上げる）

エアホーンが鳴る前にスタートした選手、またはスタート時にまっすぐ前進しなかった選手には、TA1で15秒のタイムペナルティが課せられる。

※「On your marks!」は言わない。

# Competition

Rule	Subject
4.10 h)	ローリングスタート：規定時間に遅れた選手はスタートオフィシャルの承認が必要となり、スタート時間は選手の実際のスタート時間となる。（これまでのルールでは、当初のウェーブの最初の選手のスタート時間であった。）
4.11 a) (viii)	ウェットスーツが許可されている場合は、 <b>ネオプレン製のスイムキャップ</b> も許可される。
4.11 f) (i)	ウェットスーツが必須の場合は <b>靴下の着用</b> も許可される。
5.2 f) (i)	<p>UCIが行っているのと同じ方法で<b>ブレーキレバー</b>を規制。（<b>ブレーキレバーの最大傾斜角度 10°</b>。代替用途を可能にするためにサポートを拡張または再構成することは禁止）</p> <div data-bbox="1370 625 2484 1310"> </div>

# Competition

Rule	Subject
5.2 c) (iv)	競技規則の変更ではないが、今後バイクのナンバーステッカーの改変は厳しく取りしまる。
5.2 l) m) n) o)	l.) フェアリングと認識されるものの禁止。 m.) ハイドレーション容量の制限: ステアリング軸を中心に回転するコンポーネントに取り付けられたハイドレーション容量は、2 L以下のこと。 n.) リアマウント式のハイドレーションシステム（フレームトライアングルの内側に取り付けられたものを除く）は、サイズ、容量、寸法、位置が以下のように制限される： (i) ウォーターボトル2本まで (ii) ボトル1本 1 L以下 o.) 下記のアイテムは禁止 (i) 選手のレーススーツに取り付けられた、または挿入されたボトル/水分補給類（栄養補給を除く） (ii) 選手のふくらはぎスリーブおよび腕スリーブに挿入されたあらゆる挿入物

# Competition

Rule	Subject
5.5 c)	全ての距離種目でドラフトゾーンおよびその滞在可能時間を12m 25秒に統一
6.1 a) (viii)	ランにおいて周回違いの選手が一緒に：これまで「1周回以上先」を対象としていたが、今後は「異なる周回全て」とする。
7.1 d)	選手が水泳出口から TA の間にスイムキャップを故意に捨てるのをTOが確認した場合、ペナルティとしていたが、今後はスイムキャップだけでなくあらゆるアイテムに拡大。
7.1 p)	スイミング出口からTAまでの間でウェットスーツを完全に脱ぐことを禁止。（立ち止まって脱ぎ、他の選手の妨害になることの禁止。走りながら上半身を脱ぐことは問題なし。）
7.1 r)	選手はヘルメットをしっかりと締めなければならない、バイク競技の開始前にラックからバイクを取り外した時点から、バイク競技の終了後にラックにバイクを置き、手を離すまで、ヘルメットのロック機構をロックまたはロック解除することはできない。（ヘルメットのロック機構に触っても違反にはならない。）（実際の改訂は、2024秋）
16.2	ミックスリレーは女子、男子、女子、男子の順に変更（2028年まで、オリンピックごとに変更予定）。
16.3 a)	2x2 ミックスリレー大会では1か国 2 チームまでをリザルトおよび表彰対象とする。（1チームから拡大）

# Competition

Rule	Subject
16.9	2x2 ミックスリレー大会では、競技中にトランジションにアクセスできることに変更
17.21 c) (iv)	パラミックスリレーのチーム構成に一人以上のPTWC選手を入れる（第一競技はPTWC選手）。（チーム構成の明確化）
17.5 f) (i)	PTVI、PTWCにおける各クラス間の調整時間の更新。
17.9 a)	ハンドラーがプレトランジションエリアで選手を支援できる場合のより正確な定義（SEAがプレトランジションの椅子、車椅子に運び終わるまでの支援の禁止。違反はペナルティ）
17.9 g)	クラス分けが承認されたパラ選手は、プレトランジションエリアからT1までランニングシューズを使用できる。
17.14 b) (i)	ハンドバイクの定義を微調整。（現在の一般的なハンドサイクル構造に合わせての変更）
17.17 d) (i)	選手が停止しているときは、テザーを外しても良い。（パラリンピックパラマラソンの事例より）
18.5 c)	スキー板を複数台預けることが可能

# Penalties

Rule	Subject
2.7 b) (iv)	競技説明会欠席に対する抗議（不可抗力） HRとCJが同意すれば、抗議書を提出する必要がなく、ペナルティが解除される可能性がある。（ペナルティを2回受けると3回目はスタートリストから除外）
3.1 f)	例外的な状況下では、競技規則の精神に従って、TO は、違反行為が規則に明記されていない場合でも選手にペナルティを課したり、規則に定められたペナルティを変更したりすることができる。
Appendix K	「-警告および修正」-修正されない場合はDSQ」へのすべての言及は、「-可能な場合であれば、警告および修正」または「-DSQ」に置き換える。（警告できなければ、逃げ切られることの防止）
3.3 e) (i)	ドラフティング違反のペナルティ時間の変更： LD -3 分（現在 5 分） MD -2 分（現在 5 分） STD -1 分（現在 2 分） SPT -30 秒（現在 1 分）

# Penalties

Rule	Subject
3.3 e) (ii)	通常のタイムペナルティ時間の変更: LD -1 分 (同じ) MD -30 秒 (同じ) STD -15 秒 (同じ) SPT -10 秒 (同じ) SSPT <b>-5 秒</b> (現在は 10 秒)
7.1 h) j)	エイジの乗車違反、降車違反は、やり直しでなく、タイムペナルティとする。 (エイジ大会で安全性に問題がなければ、ローカルルールで従来通りのやり直し方式の採用や、選手を止めて注意を促す方式の採用でも可。)
7.1 f)	選手はトランジションエリアで他の選手の進行を妨げてはならない。他の選手の競技続行を妨げるような妨害行為は失格となる。置き間違えた用具は、影響を受けた選手が移動することができる

# Uniforms

Rule	Subject
2.8 c)	すべての選手は肘までの袖（肘を覆わない）のショートスリーブユニフォームを着用可能。
2.8 c)	フロントジッパーのユニフォーム：下げられるのが胸骨までだったが、制限が解除（但し、ジッパーは40cm以下で最下部がつながっていることが条件）。中距離以上のエリート、U23,ジュニアは（エイジは、必要とされる場合）、フィニッシュ100m手前からジッパーを完全に上まで上げる。
4.11 c) (ii)(iii)(iv)	エリート、U23、ジュニア、パラのスタンダード以下の距離ではスイムスキンは許可されない。エイジの場合は、全ての距離でスイムスキンの着用が許可される。但しT1でスイムスキンを脱ぐこと(以前は、スタンダード以下では脱げなかった。熱中症対策)。
Appendix F	コンチネンタル大会のトライアスロンを除くすべてのマルチスポーツでは、エイジはNFコードとワールドトライアスロンのロゴが印刷されている限り、どのようなユニフォームでも着用可能。

# Races

Rule	Subject
2.12 a) (iii) (iv)	失格となった選手は、レースが中断された場合、レースを再開することはできない。DNF、DNS、LAPの選手は競技を再開できる。またタイムペナルティは削除される。
10.2 d) (i)	腸球菌と大腸菌の許容レベルの軽減(優良から良好へ)。スイムを中止する決定は、1人の人物ではなく、以下の人物を含むグループによって行われる: メディカル委員会代表 MD (いなければ、TD) LOC メディカルディレクター (重要)
10.4 a)	水の流速だけでなく、その他の環境条件に応じて、TD がスイムセグメントの距離の変更または、キャンセルできる。
10.4 b)	岸の近くで測定された水の流速がエリートの場合 1.5m/s、エイジの場合 0.5m/sを超えた場合、スイムのスケジュール変更あるいは、キャンセルを行う。
10.5 a)	雷が発生した場合にレースを中止する条件の緩和。 落雷位置 : <b>13km→5km</b> (基本的には、エリート大会基準。参加者の多いエイジ大会では、気象予報を確認しながらの早めの判断が必要。)
10.9 b) (v)	10人以上の大規模チームのパラ競技に、より多くのコーチを配置できるように変更。
15.4 a)	LOCはコーチステーションにボランティアを配置し、コーチを持たない選手を支援する。

# Races

Rule	Subject
Appendix D Definitions	プレトランジションの定義を追加
17.10 i)	パラ選手がトランジションポジションとマウント/デismountラインの間で義足を使用できるように、マウント/デismountラインの近くに「モビリティ器具エリア」を設ける。「モビリティ器具エリア」間の義足の移動は、TO等が行う。(Mobility equipment area)
20.5	SF/F イベントの番号付けには 2 つのオプションがあります: ・準決勝で使用した番号で決勝に番号を付ける ・1 から始まる決勝に番号を付ける
22.3	アクアバイクのフィニッシュラインの新しい定義 (フィニッシュラインは、降車ライン手前100m~200mに設ける。フィニッシュ後も降車ラインまでバイクに乗って、降車。)
Appendix A	距離の調整: スプリントトライアスロン、スプリントデュアスロンの距離 : Up to から、ジャストの距離へ変更 ミドルトライアスロンのラン距離を20~21.9km (従来20~21km) 他

# Races

Rule	Subject
Appendix A	パラのアクアスロンはスイム+ランとする。(第一ランは無し)
2.7 b) (vii)	ブリーフィングをレース前日の16時00分に変更 (WTCISも前々日18:00から前日に変更)
2.5 i)	男子エイジの名称をOpen AGに変更し、略語をN15、N20、N25などに変更。
2.10	LD デュアスロン世界選手権の番号付けには、前年の上位 10 名が最初の 10 番号を取得する。

## Rankings and qualification

Rule	Subject
10.11	不可抗力により変更されたイベントのポイントの削減を変更。75% から削減なし、50% から 75%

## Protests

Rule	Subject
11.4 12.6	LOCが審議委員となることを許可する。11.4に欠けている部分を第12章に含め、ほとんどの段落が重複しているため11.4を削除する。
13.3	レベル 3 の控訴手続きは審判所の責任であるため削除し、このレベルが存在し手続き規則に従って機能するという参照を含める。

## Para Triathlon Classification

Rule	Subject
Classification Rules	IPC 分類審査委員会 (BAC) に統合された異議申し立て手続き
Classification	資格のない選手を2つの規定に分割。

## Anti-doping Rules

Rule	Subject
Anti-Doping Rules	国際レベルのアスリートの定義：国際レベルのアスリートとは、世界トライアスロンに含まれるイベントに出場するすべての選手を指す。